

Golden Star LAWN MOWER

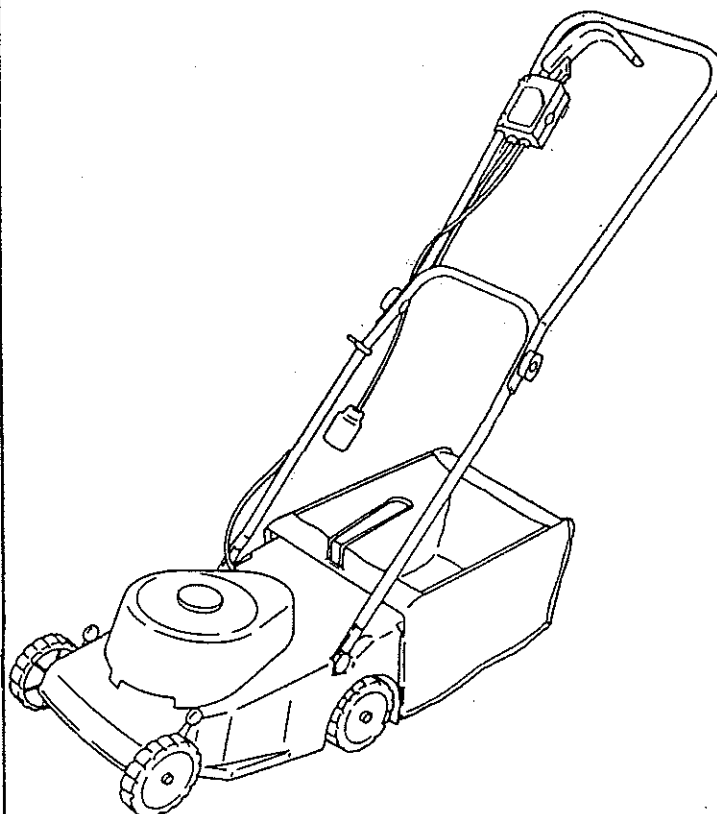
取扱説明書

ゴールデンスター

電気芝刈機

カローモア

GAR-2400B



— お買い上げありがとうございました。 —



警告

- この取扱説明書は、いつでも使用できる所に大切に保管して下さい。
- ご使用前に、まずこの取扱説明書をよく読まれ、本機の機能をご理解の上、正しく安全に使用下さるようお願い致します。

目次

	項
1. 安全にお使いいただくために	1 ~ 3
2. 各部の名称と危険・警告ラベル貼付位置	4
3. 仕様	4
4. 組立	5
1) ハンドルの組立	5
2) キャッチャーの組立・取付	5
5. 作業前の点検	5
6. 作業操作方法	6
1) 刈り高さ調整	6
2) 電源プラグの接続	6
3) スイッチレバーの操作方法	6
4) ブレーカー（過負荷保護）ボタン	7
5) 刈り込み作業	8
7. 点検・整備・調整	9
1) 刈刃の交換	9
2) 刈刃の刃研ぎ	10
8. お手入れと保管方法	10

1. 安全にお使いいただくために

この取扱説明書では『危険』『警告』『注意』の警告事項について、次のように定義しています。

▲ 危険

・ 誤った取扱いをした時に、重傷または死亡につながる重大事故が発生する可能性があるとき

▲ 警告

・ 誤った取扱いをした時に、重大な傷害を受ける事故が発生する可能性があるとき

▲ 注意

・ 誤った取扱いをした時に、軽傷または中程度の傷害を受け、財物の損壊等につながる事故が発生する可能性があるとき

本機のご使用前に、以下の危険、重要警告及び注意事項をよくお読みいただき、理解し必ず守って下さい。

▲ 危険

重大事故が発生する場合がありますので、絶対にやめて下さい。

1. 刃部に手足等身体を近づけないで下さい。

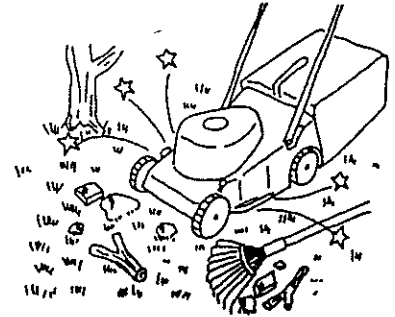
特に、電源プラグがコンセントに差し込んでいる間は、誰も絶対に刃部に身体を近づけないで下さい。



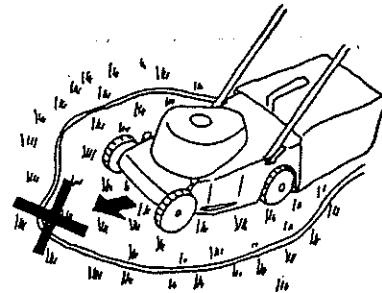
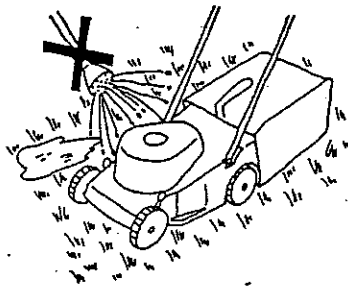
⚠ 警告

人が重大なケガを負う場合がありますので、必ず守って下さい。禁止事項は絶対にやめて下さい。

1. 芝刈り作業以外には使用しないで下さい。
 - ・特に芝刈機に、お子様や物品を乗せないで下さい。
2. 未成年の方による操作は、保護者の監督下
でない限りおやめ下さい。
3. 延長コードは、屋外用125V・7A・
0.75mm以上のコードをご使用下さい。
4. 使用前に、芝生の中の石、木片、金属片等
の異物を必ず取り除いて下さい。



5. 感電の恐れがありますので、下記のような使用はしないで下さい。
 - ・雨中での作業はしないで下さい。
 - ・雨上がりや散水直後の作業はしないで下さい。
 - ・雨の中に放置したり、本機を水洗いしないで下さい。
 - ・濡れた手でスイッチレバー、電源プラグに触れないで下さい。
 - ・延長コードを本機で切断しないよう充分ご注意のうえ作業して下さい。



6. 次の作業は、本機のスイッチを切り、ロックレバーを“LOCK”
にし、電源プラグをコンセントより抜いて下さい。

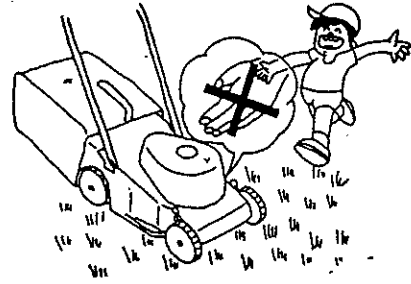
- ・組み立てる時。
- ・グラスキャッチャー（集草器）の脱着時。
- ・刈り高さの調節をする時。
- ・刈刃に石、木片等の異物が入って異常を感じた時。
直ちに使用を中止し、スイッチを切り、電源プラグをコンセントより抜いた後、異物を取り除き、刈り刃等本機に異常がないか点検し、異常があれば修理して下さい。
- ・刈刃の交換をする時。
- ・その他調整・点検・修理を行う時。
- ・作業中、本機から離れる時。
- ・持ち運びする時。
- ・使用しない時。保管する時。

▲ 注意

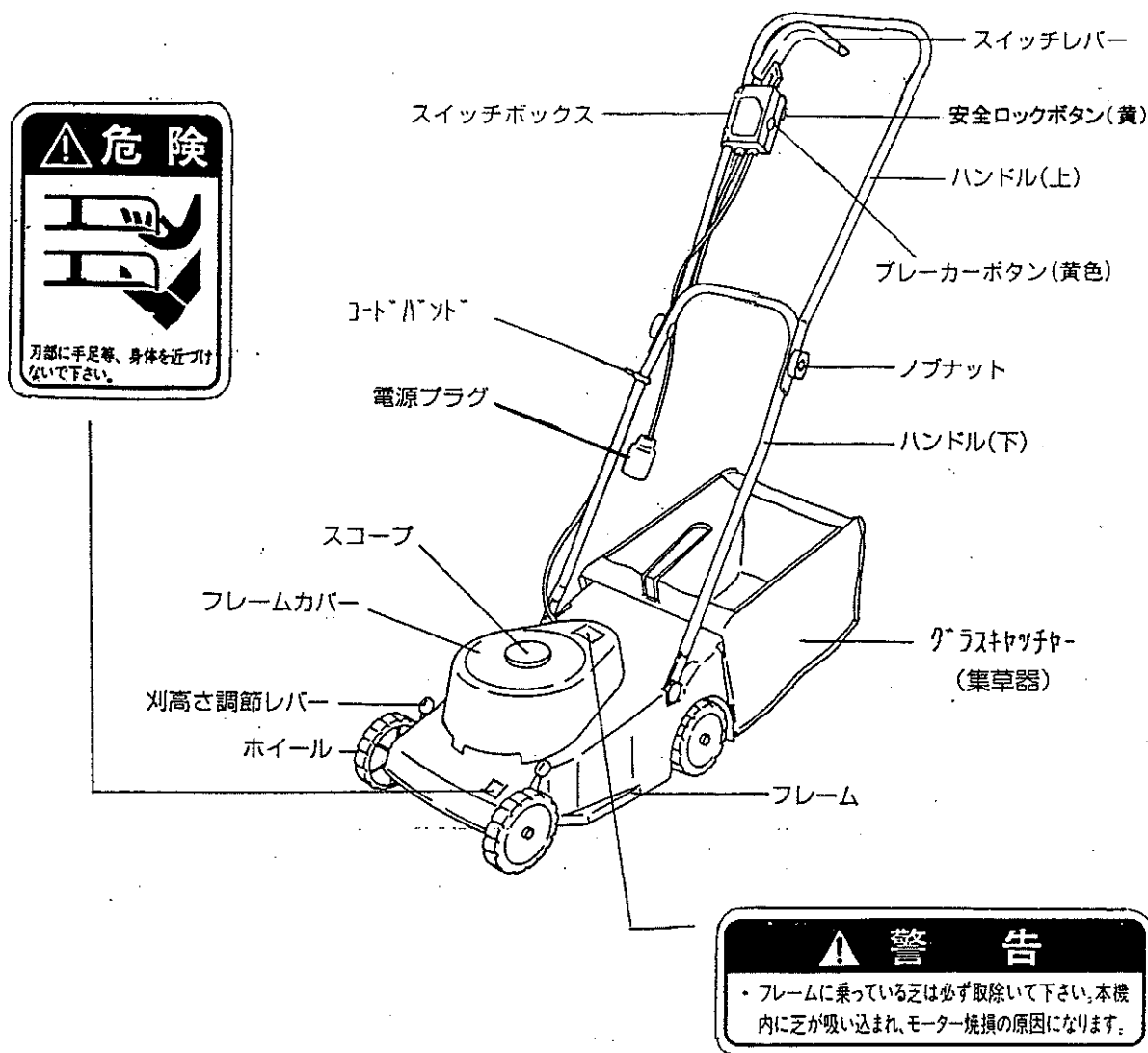
人がケガをしたり、物が壊れたりする原因となりますので、充分ご注意下さい。

1. 使用前に本機の調整箇所及び、組立方法を確認してください。
 - ・各部のネジに緩みがないか、各部品に損傷がないか、正常に作動するか充分点検して下さい。
 - ・本機の組立を適切に行ってください。
 - ・刈り刃の取付を適切に行ってください。

※ 異常があった場合は、直ちに使用を中止し、適切な調整・修理を行ってください
2. 使用中は、他の人や動物を近づけないようにして下さい。
3. 本機の操作方法をご存じない方、または理解できない方には操作させないで下さい。
4. 濡れた芝を刈らないで下さい。
感電の恐れがあるばかりでなく、サビなど芝刈機の故障の原因となります。
5. 傾斜面等、不安定な場所での作業及び放置はしないで下さい。
 - ・ハンドルを立てた状態では倒れやすく、転倒の恐れがあります。
6. グラスキャチャー（集草器）、フレームカバー等部品を外した状態で使用しないで下さい。
7. 操作時はいつでも安全に注意し、作業に適した服装をして下さい。
 - ・だぶついた服はさげ、作業に適した服装に、滑りにくい靴・ゴム手袋を装着して下さい。
8. 刈り刃の着脱、手入れなどを行う場合は、必ず手袋を着用して下さい
9. 使用後は必ずお手入れをして、湿気の少ない所に保管して下さい。
 - ・サビが発生したり、刃が切れなくなる場合があります。
10. 使用後は、お子様の手が届かない、鍵のかかる所に保管して下さい。
11. 収納する時は、ハンドルを外すか、倒れても危険のないようにして下さい。
12. 本機の修理は必ずお買い求めの販売店へお申し付け下さい。
 - ・本機に異常を感じた時は、ただちに作業を中止して下さい。
 - ・当社指定のサービスマン以外、取扱説明書の説明以外の分解修理及び改造は行わないで下さい。
13. ゴールドenster純正の部品、付属品を使用して下さい。
 - ・本機指定の純正部品以外、使用しないで下さい。



2. 各部の名称と危険・警告ラベル貼付位置



3. 仕様

型 式	GAR-2400B型	刈 込 高 さ	10、15、20、25mm
定 格 電 圧	110V	刈 込 能 力	400㎡/H
定 格 周 波 数	60HZ	本 体 寸 法	長980X幅320X高800mm
定 格 消 費 電 力	550W	重 量	7.0kg
定 格 時 間	連続	付 属 部 品	刈刃着脱用工具・レンチ ハンドルボルト・ノブナット グラスキャッチャー(集草器) キャッチャーフレーム 延長コード・コードバンド
刈 幅	230mm		
刈 刃	刈払機用Φ230×4枚刃		

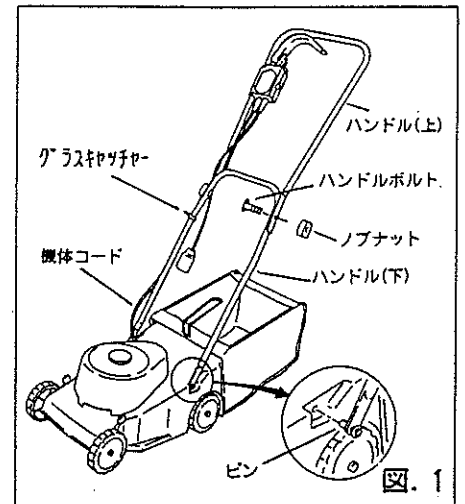
※ 延長コードは、屋外用(125V・7A・0.75mm²以上)をご使用下さい。

※ 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

4. 組立

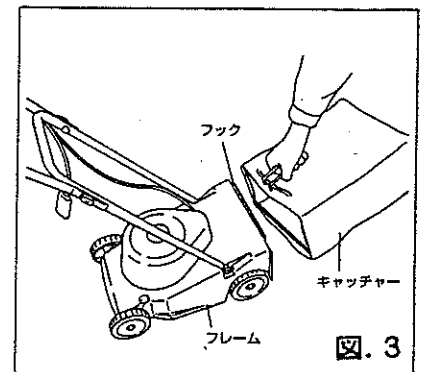
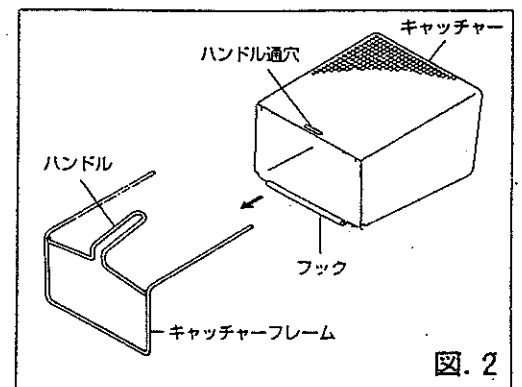
1) ハンドルの組立 (図. 1)

- ① ハンドル(下)ピン部を、フレームのハンドル取付穴2ヶ所に確実に差し込みます。この時、ハンドル(下)がスムーズに前後に倒れる事を確認して下さい。
- ② ハンドル(下)にハンドル(上)をハンドルボルトとノブナットで確実にしめ付け固定します。この場合、スイッチボックスの方向に注意して下さい。
- ③ ハンドルの取付が終わりましたら、機体コードをコードバンドで固定して下さい。
- ④ 機体コードはハンドルを後ろに倒した時に、フレームとハンドル(下)とで挟み込んでしまう事を防止するために、ハンドル(下)の上側になるようにして下さい。



2) キャッチャーの組立・取付 (図. 2・3)

- (1) キャッチャーフレームのハンドル部をキャッチャーのハンドル通し穴へ通して、キャッチャーフレームをキャッチャー内へセットして下さい。
- (2) キャッチャー底面部のフックをキャッチャーフレームに引っかけて下さい。
- (3) 組立られたキャッチャーを本機にセットする時は、フレームのフック部にキャッチャーフレームを引っかけて下さい。(図. 3)
- (4) キャッチャーを取付ないで、芝刈り作業は絶対にしないで下さい。



5. 作業前の点検

▲ 注意

・使用前に本機の調整箇所及び、組立方法を確認して下さい。異常があれば、直ちに修理して下さい。

- (1) 各部のネジに緩みがないか、各部品に損傷がないか、正常に作動するか充分点検して下さい。
- (2) ハンドル、グラスキャッチャー等本機の組立を適切に行って下さい。
- (3) 刈り刃の取付を適切に行って下さい。
- (4) 延長コード、電源プラグなど電線が熱をもったり、断線がないか確認して下さい。
- (5) 本機が熱をもったり、その他異常がないか確認して下さい。

6. 作業操作方法

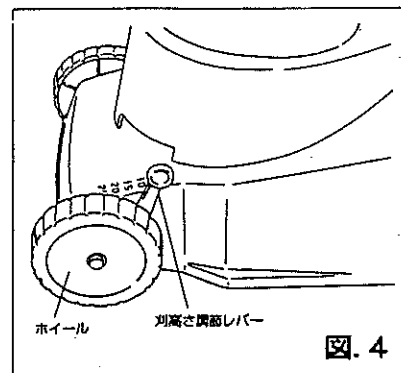
1) 刈り高さ調節

警告

・刈り高さ調節をする時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行って下さい。

刈り取り高さは芝生に応じた調節になっているか確認して下さい。

- (1) 一度の刈り込みで刈取る芝生の長さは、10～20mmが最適です。
- (2) 刈り高さは、10、15、20、25mmの4段階に調節ができます。(図. 4)
- (3) 前方の刈り高さ調節レバーをホイール側に引き、適当な刈り高さに調節して下さい。



2) 電源プラグの接続

- (1) 延長コードは、屋外用125V・7A・0.75mm²以上のコードをご使用下さい。
- (2) 延長コードの取り付けは、ロックレバーがロックになっているのを確認し、本機側電源プラグに接続して下さい。
- (3) 刈り刃が、確実に、適切に取付けできているか点検して下さい。

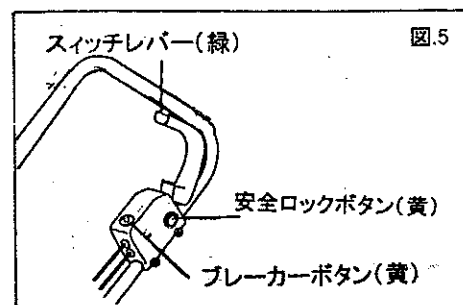
警告

・延長コードは、屋外用125V・7A・0.75mm²以上のコードをご使用下さい。

3) スイッチレバーの操作方法

(図. 5)

- (1) 安全ロックボタンを押した状態で
- (2) スイッチレバーを手前に引くとスイッチが入り回転刃が回転します。
- (3) スイッチレバーから手を離すとスイッチが切れ回転刃の回転が止まります。



※ ボタンを押さなくてもスイッチレバーは動きますが、電源は入りません。

警告

・スイッチが切れても、回転刃の回転はすぐには止まりません。点検・調整時には、回転刃の回転が止まっている事を確認し、電源プラグを延長コードのプラグから抜いて行って下さい。

4) ブレーカー（過負荷保護）ボタン (図. 6)

- (1) 作業中、モーターに異常負荷がかかると、ブレーカーが作動して自動的に電源が切れます。
- (2) すぐにスイッチを切りスイッチロックをした後、必ず電源プラグを抜いて下さい。
- (3) 異常負荷の原因である本機に詰まった芝生・雑草・異物等を取り除いて下さい。
- (4) 約30秒後にブレーカーボタンを押し込んで、復帰させてから作業を開始して下さい。

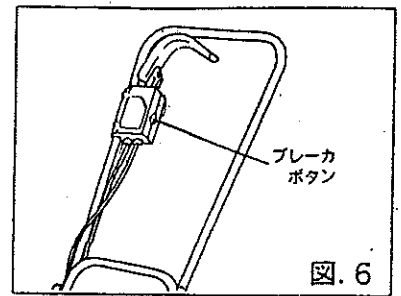


図. 6

⚠ 警告

・ 芝刈機に詰まった芝生・雑草・異物を取り除く時は、必ず電源コードをプラグから抜いてから行って下さい。

⚠ 注意

・ ブレーカー（過負荷保護）付であっても、下記条件で作業されますと、モーターが焼損する場合があります。

- 1) 刈刃回転が、十分に上昇しないうちに芝刈作業を行う。
- 2) 刈刃回転が、低下した状態で、連続して作業を行う。

原因	対策
① 芝刈作業速度が早い。	刈刃回転が極端に低下しない歩行速度で芝刈作業を行う。
② 芝生の高さが50mm以上である。	芝生の高さを50mm以下になるようにあらかじめ刈払機・芝生鋏・鎌等で下刈りをおこなう。
③ 散水直後か雨等で芝生がぬれている。	日中の芝生がぬれていない時に作業する。
④ キャッチャーに刈った芝等が充満している。	キャッチャーに芝等が8割程度入った時点で作業を中断してキャッチャー内の芝等を捨てる。
⑤ フレーム内に芝等が付着してブレードに接している。	刈刃交換の要領でフレーム内に付着した芝等や、排出通路に詰まった芝等を定期的に取り除く。
⑥ 芝排出通路に芝等が詰まっている。	
⑦ フレームカバー内に芝等が詰まっている。	定期的なフレームカバー内（モーター室）を点検し、芝等が入っていれば取り除く。

⚠ 警告

・ フレームに乗っている芝は必ず取除いて下さい。本機内に芝が吸い込まれ、モーター焼損の原因になります。

・点検方法 (図.7)

- ①スイッチのロックレバーを「LOCK」にし、電源プラグをコンセントから抜いてから点検してください。
- ②フレームカバーを固定しているタッピングスクリュウ2本を緩める。
- ③フレームカバー後部を持ち上げるように取り外します。
- ④掃除機等でモーター室に入った芝等を取り除いてください。
(この時、モーターの電線等にキズを付けないでください。)
- ⑤フレームカバー後部のタッピングスクリュウボスとフレームのボスを合わせた後フック部をフレームの穴に押し込みます。
- ⑥タッピングスクリュウ2本で確実に固定します。

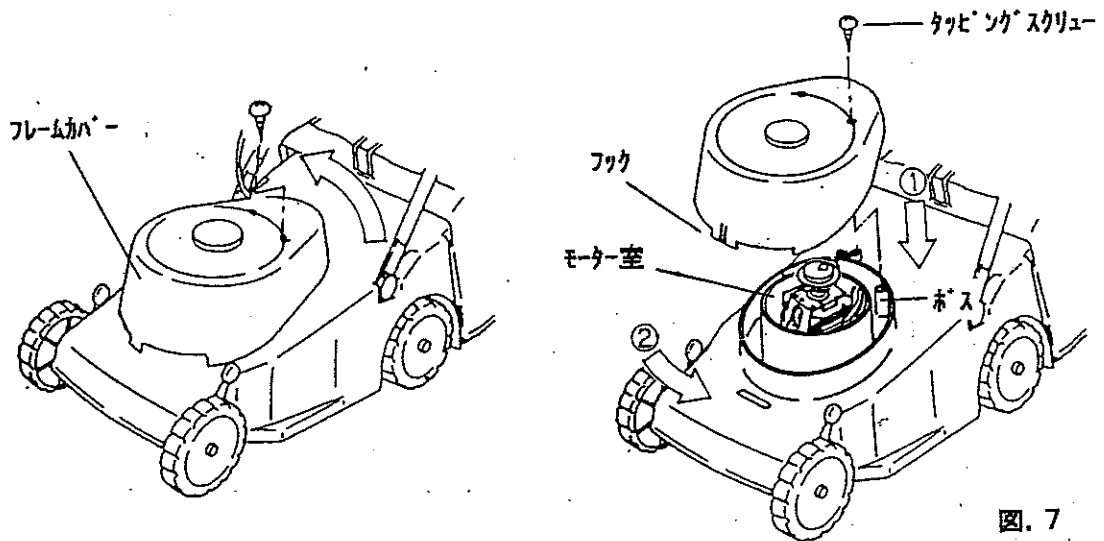


図. 7

5) 刈り込み作業

- (1) ご使用前に、芝生の中の石、木片、金属片等の異物を必ず取り除いて下さい。(図. 8)
・作業中、もし、石や硬い物にあたったときは、直ちにスイッチを切り、ロックレバーを「LOCK」にし、電源コードをコンセントから抜いて、スコップにより刈刃の回転が停止したことを確認してから、刈刃に割れ、欠けなど異常の有無を必ず点検して下さい。
- (2) 芝刈機の刈り込み幅を全部使わないで、常に刈り込み幅の約1/3程度重複して刈れば、平らにしかもきれいに刈れます。
(図. 9)
- (3) 一通り刈り終えますと、今までと直交する方向で刈り込めば、刈り後がきれいになります。
(図. 10)
- (4) 50mm以上長く伸びた芝(A)を刈る場合は、予め刈払機・芝生バサミ・鎌等の道具を用いて、50mm以下になるように下刈(B)を行います。次に、本機の最大刈り込み高さ25mmで刈り込んだ後(C)に希望の高さで刈り込んで下さい。

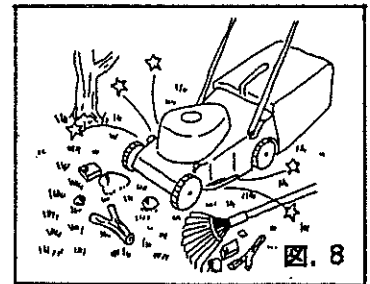


図. 8

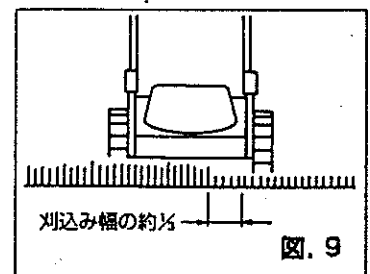


図. 9

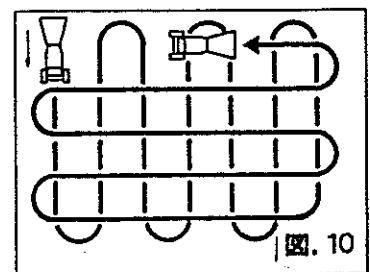
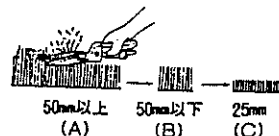


図. 10

▲ 注意

- ・長く伸びた芝生を刈り取る場合は、最初刈り高さを高くし、順次高さを低くして刈り込んで下さい。
最初から短く刈り込むと、芝刈機の故障の原因となるばかりでなく、大切な芝生も痛めます。

刈り高さ



7. 点検・整備・調整

1) 刈刃の交換

▲ 警告

- ・刈り刃を着脱する時は、必ず電源コードをプラグから抜いてから行って下さい。
- ・フレームカバー上部のスコープにより、刈刃が完全に停止したことを確認してから行って下さい。

- (1) 刈刃の交換の際には、必ずスイッチボックスのロックレバーを「LOCK」にし、電源プラグをコンセントから抜いて安全を確認してから行って下さい。
- (2) フレームカバー上部にスコープが取り付けられています。これにより、モーターの回転及び刈刃の回転が外部から一目で確認できますので、刈刃の回転が完全に停止したことを確認してから行って下さい。
- (3) 刈刃は刈払機用替刃φ230mm×4枚刃を使用して下さい。
- (4) ボルト2本を緩めて、アンダーガード（前）を前方向（矢印）にずらすように取外して下さい。（図. 11）
- (5) ホルダー（下）を専用工具でアンダーガード（後）に固定し、ボックスレンチでナットを緩めて、刈刃を取外して下さい。（反時計方向で緩めます）（図. 12）
- (6) 刈刃取付けの際には、逆の順序で行って下さい。
- (7) 刈刃の取付け・取外しの際には手袋を着用し、安全に十分注意して行って下さい。
- (8) 刈刃取付けの場合、刈刃のセンター穴がホルダー（下）の凸部に確実にセットされたことを確認して、ナットを締付けて下さい。
- (9) 作業前には再度刈刃が正しく、しっかりと取付けられていることを確認して下さい。

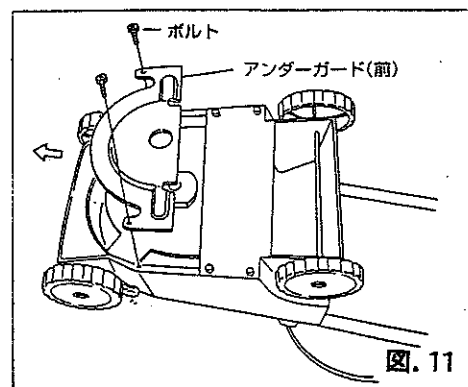


図. 11

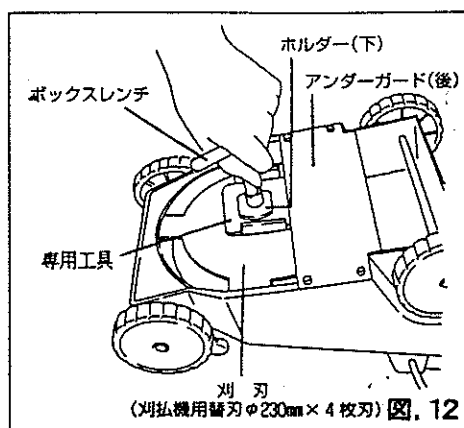
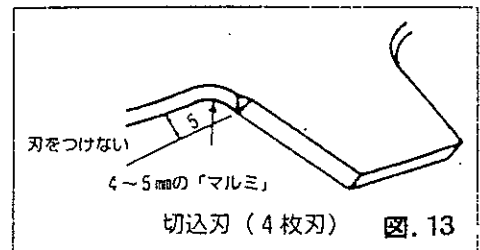


図. 12

2) 刈刃の刃研ぎ

刃を研ぐ場合は、次の点に注意して下さい。

- (1) 刃付部分は刃の付根から約5mmとり、付根の「マルミ」の4～5mmの部分には刃を付けないで下さい。(図.13)
- (2) 刃の付根部分には必ず「マルミ」を付けて下さい。「マルミ」を付けないと使用中、付根部から割れを生じることがありますので注意して下さい。
- (3) グライNDERを使用して研ぐときは、急に水などに投入して冷やさないように注意して下さい。
- (4) いつも刃のバランスに注意して、刃の形や大きさを4枚とも同じにし、常に「フレ」のないように刃付けして下さい。バランスがくずれると振動源となります。



8. お手入れと保管方法

⚠ 注意

1. 使用しない時は、必ず本体のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 本体・グラスキャッチャー・ハンドルなどを乾布でよく掃除し、金属部分は油布で手入れをして下さい。
※ガソリン・シンナー・ベンジン等は使用しないで下さい。
3. 掃除の後、日中によく乾燥させて下さい。
4. 本機を雨の中に放置したり、水洗いしないで下さい。
5. 回転部に機械油を注油して下さい。
6. 回転刃、受刃は、特によく掃除の後、サビないように油拭きをして下さい。
7. 損傷箇所がある場合は必ず修理してから格納して下さい。
8. 使用後は、お子様の手の届かない鍵のかかる所に保管して下さい。
9. 使用後は必ずお手入れをして、湿気のない、ゴミ、ホコリの付かない所に格納して下さい。
10. 格納する時は、ハンドルを外すか、倒れても危険のないようにして下さい。



製造番号

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機を末長くご愛用いただきますようよろしくお願いいたします。

本 社

兵庫県小野市本町10番地 〒675-1372
TEL (0794) 62-2391代 FAX (0794) 63-5211

東京支店

東京都中央区日本橋小伝馬町8番3号 〒103-0001
TEL (03) 3664-8811代 FAX (03) 3664-8860

九州支店

佐賀県鳥栖市養父町473番地2 〒841-0005
TEL (0942) 85-9277 FAX (0942) 84-2700

新潟・三条出張所

新潟県三条市神明町2番1号 〒955-0063
TEL (0256) 32-9971 FAX (0256) 32-9671

KINBOSHI

Corporation

園芸機器総合メーカー

キンボシ 株式会社

3395-9811Z